



エコポスト

小田原市の環境を考えるための情報誌

vol. 77

酒匂川右岸清掃を実施しました！

環境ボランティア協会では、毎年秋に「酒匂川の河口をきれいにしよう！」を合言葉に地域の皆様と共同作業で清掃活動を行っています。今年は10月27日(日)に50名以上の方にご協力いただき、清掃活動を実施することができました。ご協力いただいた小田原東高校、白鷗中学校の生徒からの感想文を紹介します。



海岸沿いには、人為的に捨てられた、または流れ着いたごみが多く散乱していました。白鷗中学校の生徒さん、先生方、市の方々、環境ボランティア協会の方々、そして小田原東高校の地域交流委員会一同で力を合わせ、海岸のごみを拾って回りました。今後も小田原市環境ボランティア協会や白鷗中学校の方々と協力し、小田原の環境を守りたいと思います。
(小田原東高校3年 地域交流委員長 力石 鈴之佑さん)



10月27日、朝1時間程度でしたが、市の環境ボランティア協会主催による「酒匂川右岸清掃」に参加しました。

台風15号、19号とその後の大雨の影響で、流木が積み重なっていましたが、何よりも驚いたのは、大量のペットボトルです。キャップやラベルがついたままの物もたくさん流されてきていました。それらを拾いながら、今、海洋プラスチックが問題になっていることを思い出しました。

燃やされずに埋め立てられた、またポイ捨てされたペットボトルなどのプラスチック製品が、水路や川から海に流れ出て、太陽光や波の力でもろくなり、壊れて小さくなり、5mm以下のマイクロプラスチックとなり、魚などが食べてしまうという問題です。

今回の清掃ボランティアに参加して、面倒がらずにごみを分別して、リサイクルしていくこと、特に使い捨て用のプラスチックのごみは出さないようにしなくてはいけない、と改めて思いました。また、このような活動をもっと多くの人に広めていきたいと思いました。

(白鷗中学校 2年 金子 剛大さん)

少しずつ秋の風が感じられる今日この頃、9月から10月にかけて台風15号・19号があり、その後の豪雨などにより、山は崩れ、家は流され、大変な災害が起こり、避難生活を余儀なくされる方も多く、生活環境の変化に心身ともに大変お疲れになられていることと思います。

被災された皆様ができるだけ早く、その方らしい明るい生活を取り戻せることをお祈りいたします。先日10月27日に小田原市環境ボランティア協会で酒匂川右岸清掃がありました。台風の影響もあり、ごみも多くあることだろうと予想していたところ、清掃に参加していただいた中学生が戻ってきたので、「ごみはどうでしたか」と聞くと、「一番多かったのはペットボトル、発砲スチロール、空き缶」と言っていました。

白鷗中学校、小田原東高校の先生・生徒、地域の皆様にご協力いただき、本当にありがとうございます。

人生にも、こんなボランティア活動があったということを忘れないでいただきたいですし、自分もボランティア活動を頑張っていきたいと思います。

(富田 蓉子)



ツデーマーチ曾我別所六本松隧道落書きを消し

11月1日（金）晴れ、午後1時30分から小田原市農政課3名・観光課2名・環境ボランティア協会2名の計7名で、1時間半かけて隧道中の28カ所、隧道の上の山道のガードレール1カ所の落書きを消しました。

その場所で、偶然地元農家の自治会役員に会い、私達の行動を見て、感動していました。この活動を地元の方にも伝えていただくようお願いしました。その方たちは、11月3日にこの場所で清掃活動をする予定とのこと。活動終了後、参加者からは「きれいになったので、落書きしなくてほしい」「やりがいがあった」「きれいになると気持ちが良い」などの声が上がりました。

市の職員の方にも協力いただきながら、一緒に活動することはとても素晴らしいことです。

（西島 摩瑛頭）



城下町おだわらクリーン作戦開催！

毎年、「城下町おだわらツデーマーチ」開催に先立って行う、『城下町おだわらクリーン作戦』しました。今年も46名と多くの方にご参加いただきました。

ツデーマーチのコースをきれいにしてお客様をお迎えしよう！！

11月10日、雲一つない晴天のもと、46名の参加者が二つのコースに分かれて、自然ごみ以外のごみの清掃活動を行いました。街に住む人たちの美化意識は年々高くなっているようで、ほとんど目立ったごみがないくらいにきれいでした。

朝9時から10時30分までの清掃で集めたごみは、ひとまとめにまとめてみると、燃せるごみは45ℓごみ袋3個、燃せないごみは45ℓごみ袋1個でした。

ツデーマーチのお客様が、気持ちよく歩いていただけるよう皆で頑張りました。

（西島 ゆりこ）

第21回城下町おだわらツデーマーチ会場清掃！

11月16日（土）・17日（日）晴天に恵まれ7,256人が参加されたツデーマーチ。16日の20kmコースに参加の横浜在住のご夫婦は「富士山がきれいで、最高でした」と喜んでいました。「道路はきれいでしたか？」と質問しましたら、「とてもきれいでした」とのお答えをいただきました。

17日の10kmコースに参加の男性にも同じ質問をしましたら「全体的にすごくきれいでした」とお答えをいただきました。「今回は親子一緒に歩育（キッズウォーク）にクイズ参加できたことが良かった」とも仰っていました。小田原市環境ボランティア協会会員8名が清掃活動に参加しましたが、会場内のごみは以前より減っています。大いにうれしいことです。

（植田 聡）



酒匂川左岸シバザクラのマイ花壇補植に参加して。

10月26日（土）曇り後晴れに恵まれ、午前9時に補植作業を開始しました。当日は約40名が参加し、当会からも2名参加しました。今回は台風19号の影響で、酒匂川が増水し、上流側の半分の区画は一部が流されてしまっていました。今回は下流側の被害の少なかった場所の除草作業と、新しいシバザクラの苗の補植を行い、10時頃には作業終了となりました。参加者全員が台風の影響を受けたシバザクラを復活させようと、夢中で作業を行っていました。外の空気は気持ちがよく、清々しく楽しいひと時でした。

（西島 摩瑛頭）



CO2(二酸化炭素)排出量抑止は足元の工夫で！

去る10月の台風19号は森戸川の河口付近に住む我が家の隣の2人が警戒レベル5の防災無線放送に驚き、拙宅の二階で数時間過ごすことになった。

結果的には無事に済んだが、近隣の道路に川の溢水により砂利が流れ込む程度だった。しかし、もう少し雨量が多かったなら、床下浸水になったように感じるほどの凄さであった。

ニュースによると、地球の温暖化により、日本沿岸は海水温が例年より2℃も高いため、台風の大型化は予想されていたそうです。

2019年11月末に発表された国連の環境計画報告によると、温室効果ガスをCO2(二酸化炭素)に換算した場合、2018年は553億tも世界が排出ことになり、前年よりも1.5%増えたそうである。

我が国も産業界等との合意で温室効果ガスを毎年80%削減に取り組んでいるものの、イギリスやフランスの0%を目標にするという法律を決めるほどの域に達していないのは残念である。

そこで私案であるが、市内から出される生ごみを全世帯が燃せるごみにせず、堆肥化する事業を強力に推進しては？と思っている。この実施事例は山形の長井市で30年間も継続しているもので、官民の情熱で決まるものでないかと思う。

もう一つの私案として、燃せるごみのなお一層の減量化である。

多くの市民がその他紙として燃やさない方策等に取り組み、成果を上げつつあるが、燃せるごみの減量化が多大な経費削減になることを広報で何度も訴えることが重要である。全国の市町村には人口1人につき1年間で365kg以上もあれば、100kg以下もあるとのニュースがある。

以上の二つの案が実現できない間は、私も生活の中でCO2(二酸化炭素)を少しでも出さない歩みをした

（高松 民吉）



かんきょう伝言板

***** イベントご案内 *****

◇環境美化促進重点地区啓発キャンペーン

小田原駅を中心とした環境美化促進重点地区の清掃活動を行いながら、きれいな街、良好な生活環境をつくる啓発キャンペーンを行います。

- 【日時】 1月16日
- 2月6日・20日
- 3月5日
- 4月2日・16日
- 5月7日・21日

※いずれも木曜日の13:30~15:00(雨天中止)

【集合場所】 小田原駅西口駅前ロータリー (北条早雲公像前)

【集合時間】 13:20

【持ち物】 軍手

【主催】 小田原市環境ボランティア協会

【連絡】 西島 (23-3740)



◇落書き消しのボランティアを募集します！

小田原市内において、13年前から落書き消しの活動をボランティアで実施しています。活動を開始してから、徐々に落書きの数も減ってきてはいますが、まだ歩道橋やガードレールなど目に付くところに落書きがされています。

そこで毎月の活動(不定期)に、ぜひご参加いただける方を募集します。みんなの手で小田原のまちを落書きが一つもない綺麗なまちにすることを目標に活動してみませんか。

実施日や活動の内容等につきましては、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

【持ち物】 汚れてもよい服装・軍手

【連絡】 環境ボランティア協会
西島 (23-3740)

【今年12月までの実績】 市内全域14,153箇所



***** 小田原市からのご案内 *****

◇食品ロス削減のため「おいしく残さず食べきろう！」

食べられるのに捨てられてしまう食べ物「食品ロス」が全国で年間約646万トンも発生しています。

夏休みやお盆になれば、家族や親戚集まったの食事が増えることと思います。ご家庭でもできることを実践することで食品ロス削減へぜひご協力ください。

【家庭編】

・計画的な買い物

安いからなどの理由で必要以上に食材を買いこむと、使い切れないことがあるため、特に、傷みやすい食材は、計画的な買い物をすることを心掛けましょう。

・冷蔵庫・家庭内の在庫管理

普段からこまめに家庭内の食品の在庫や消費期限・賞味期限を確認しましょう。

・使い切り

野菜の皮や茎も料理に取り入れるなど、食べられる部分は使い切り、結果、食材の栄養も余すことなくれます。

・食べきり

食べ残しを減らすために、料理は食べられる量だけ作り、余った料理はアレンジしたり、小分けにして冷凍庫で保存するなど、食べきる工夫をしましょう。

【外食編】

・注文時：適量注文

食べられる量だけ注文し、必要に応じて小盛りメニューを選ぶなど、注文段階で工夫をしましょう。

・料理が余ったら：みんなで分け合おう

食べきれない料理はみんなで分け合しましょう。

【担当】

小田原市環境政策課ごみ減量推進係 (33-1471)

◇生ごみ堆肥化推進事業 新規参加者募集

市内在住の方で、ご家庭で段ボールコンポストによる生ごみの堆肥化に取り組める方を募集します。無料で一式配布します。(現在既に実施している方には交換基材を有料にてお渡しできます。) 詳細については、下記までお問い合わせください。

【連絡】

小田原市環境政策課ごみ減量推進係 (33-1471)

小田原(いき)ごみクラブ代表 浜野 (090-5781-0788)

◎エコポストの制作(写真や絵画、広告制作等)にご協力いただける方を募集しています。ご興味がある方はぜひお問合せください。

また、イベントや活動紹介などの掲載をご希望の方は、事務局(33-1472)までご連絡ください。(常時原稿募集中)

【発行日】 2019年12月16日

【発行責任者】 小田原市環境ボランティア協会 会長 西島摩瑛頭

【事務局】 小田原市環境部環境政策課